

プログラム 第1回高出力遠赤外光・分子物質科学研究会(KBK研究会)

ver.20190610

日程 2019年6月13日-14日

会場 福井大学遠赤外領域開発研究センター 5F コロキウム室

主催 遠赤外領域開発研究センター, 神戸大学分子フォトサイエンス研究センター

6月13日(木) (講演時間は記載のない限り, 質疑時間を含めて30分)

番号	時間	タイトル	氏名(所属)	座長
13-0	13:00 - 13:15	はじめの挨拶と趣旨説明(15分)	谷正彦(福井大遠赤セ)	
13-1	13:15 - 13:35	遠赤センターでの取り組み: 現状と展望 (THz分光関係)(20分)	谷正彦(福井大遠赤セ)	立松
13-2	13:35 - 14:05	テラヘルツ電場を利用した顕微分光イメージング手法の開発	早澤紀彦(理研)	
13-3	14:05 - 14:35	酸化亜鉛シンチレーターによるサブテラヘルツ波の観測	清水俊彦(阪大レーザー研)	
13-4	14:35 - 15:05	デュアルTHzコム分光法	安井武史(徳島大ポストLEDフォトニクス研)	
	15:05 - 15:20	休憩(15分)		
13-5	15:20 - 15:50	テラヘルツ帯の分子科学の進展について	富永圭介(神戸大分子フォトセ)	光藤 (谷)
13-6	15:50 - 16:05	discussion(15分)		
13-7	16:05 - 16:35	バイオ応用のための高強度テラヘルツ波+ α	小川雄一(京大農)	立松
13-8	16:35 - 17:05	電磁界の生体作用評価の取り組みと高出力装置によるTHz帯の生体作用評価	池畑政輝(鉄道総研)	
13-9	17:05 - 17:35	ミリ波・THz帯の生体電磁環境研究	鈴木敬久(首都大システムデザイン)	
13-10	17:35 - 17:45	discussion(10分)		(立松)

6月14日(金)

番号	時間	タイトル	氏名(所属)	座長
14-1	9:00 - 9:20	遠赤センターでの取り組み: 現状と展望 (ジャイロトロン開発関係)(20分)	立松芳典(福井大遠赤セ)	谷 (立松)
14-2	9:20 - 9:30	discussion(10分)		
	9:30 - 9:50	遠赤センターでの取り組み: 現状と展望 (物性関係)(20分)	光藤誠太郎(福井大遠赤セ)	
14-3	9:50 - 10:05	休憩(15分)		
14-4	10:05 - 10:35	閉回路極低温ヘリウム試料回転装置とダブルジャイロトロンを使う新しい高磁場DNP-NMR法について	松木陽(阪大蛋白質研)	立松
14-5	10:35 - 11:05	高周波電子スピン共鳴(ESR)を用いた分子集合体の研究事例	中村敏和(分子研)	
14-6	11:05 - 11:35	多重極限テラヘルツESRの開発と応用	太田仁(神戸大分子フォトセ)	
14-7	11:35 - 11:50	discussion(15分)		(光藤)
14-8	11:50 - 12:00	全体を通じたdiscussionがあれば、10分程度		
	12:00ごろ	closing	谷	

12:05ごろ終了・解散